



見て触れて楽しい発見

公民館まつり & 親子わくわくコンサート

2月25日(日)に、公民館を中心に活動している皆さんが集まり、公民館まつりが行われました。館内には、生け花や陶芸、書道、絵画などの丹精込めた作品が展示され、来場者は思い思いに鑑賞を楽しみました。きりえや山野草などの制作、体験コーナーへもたくさんの方が参加し、夢中になって取り組んでいました。また、大ホールでは、舞踊や演奏、民謡、合唱などが披露されました。

公民館まつりの後には、千葉交響楽団の弦楽四重奏+ソプラノ歌手松本薫さんによる親子わくわくコンサートが大ホールで行われ、クラシックの名曲から日本の童謡まで、みんなで楽しめる楽曲が演奏されました。優雅なカルテットの演奏と伸びやかな歌声がホールに響き渡り、観客はじっくりと聞き入っていました。

みんなで作るとおいしいね

ケーキ作り & ウィンナー作り

農村ふれあい塾主催の東庄産いちごを使ったケーキ作りが3月3日(土)のひな祭りに、東庄産SPF豚を使ったウィンナー作りが10日(土)に、ふれあいセンターで行われました。

ケーキ作りでは、町内外から参加した17人が、講師の石毛京子さん指導の下、協力してスポンジや生クリーム作りに挑戦。デコレーションには東庄産のアイベリーややよいひめを使用し、かわいらしいおひなさまのケーキを作りました。いちごのババロアやスムージーも作り「食べるのがもったいない」と、出来上がりに大満足の様子でした。

ウィンナー作りでは、講師に田谷ミートセンターの田谷雄一さんを迎え、親子連れを含む17人が参加しました。羊腸にパティと呼ばれる具を詰める作業では、初めての作業の人も多く、「作り方を初めて知った」との声が聞かれました。講習会では、ウィンナーの腸詰作業を行い、ボイルをして試食をしました。



あの日を忘れない 東日本大震災から7年



シェイクアウト訓練

地震が発生したと想定のもと行われるシェイクアウト訓練は、3月12日(月)に町内一斉に行われました。町では、1,070人が参加登録し、それぞれが「まず低く、頭を守り、動かない」という命を守る安全行動をとりました。

神代小学校では、卒業式中に地震が発生したと想定し、児童は椅子の下に頭を隠し、動かずじっと身の安全を図りました。先生は児童の状況を確認し、避難に向け速やかに対応していました。



赤十字ボランティア岩沼市訪問

3月6日(火)、7日(水)に町赤十字防災ボランティア主催による東日本大震災の被災地・宮城県岩沼市へ視察研修が行われました。

岩沼市は、震災後に町から職員を派遣した被災地で、集団移転元地を活用した千年先まで命を守る「千年希望の丘」がつくられました。そこへ緑の堤防をつくるため、記念植樹を行いました。視察を通じて参加者は、日ごろから災害に対する備えが大切であることを学びました。



卒業生118人にエールを送る

東庄中学校 卒業証書授与式

寒さも緩んだ3月10日(土)に、東庄中学校で卒業式が行われました。先生方や来賓、保護者、在校生に見守られ、一人一人に卒業証書が渡され、118人の生徒が思い出を胸に新たな一歩を踏み出しました。

送別の歌「そのままの君で」や卒業の歌「はばたこう明日へ」が体育館に響き渡ると、会場では涙ぐむ姿も見られ別れを惜しみました。



福祉に対する想いを一つに

住民福祉大会

2月12日(月)に町公民館で住民福祉大会が開かれました。福祉活動に功績のあった方々が表彰され、東城小学校の児童による福祉活動の発表や東庄中学校の生徒による振り込め詐欺防止の寸劇などが行われました。

また、チャリティーコンサートとして東京大衆歌謡楽団による生演奏での歌が披露されました。昭和初期の流行歌に会場はノスタルジックな雰囲気包まれました。